

経営課題 4 まちづくり・環境【まちづくり】



現状	課題	R 3 年度 取組	R 3 年度 実績	R 3 年度 評価	R 4 年度 取組
地域活動協議会（地活協）の認知度が低い	地活協の取組を通じた認知度の向上	地活協が取組むイベントなどを通じて、地活協の認知度を向上させる	区役所の広報板に掲示し情報発信（6回） 区広報紙への掲載（毎月） Facebookの活用	地活協を知っていると回答した割合： 49.7% <small>※ 区民アンケート調査（市民局実施）</small> ⇒ 予定通り実施できなかった	区広報紙に地活協の取組内容を掲載（12回（毎月）） 地活協実施の行事等で地活協の取組が多岐にわたることをPR
地域活動に参加している区民の割合が低い	新たな担い手の確保	SNSなどを利用した地域活動の紹介や、新たな地域資源や人材発掘の実施	Facebookの活用	地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合： 25.3% <small>※此花区区民アンケート</small>	担い手育成講座の開催（2回） LineやZoom等オンライン活用
地活協の意義・機能についての取組が不十分	地活協における活動内容の透明性の確保するため、地活協の意義や求められる機能の理解促進に向けた積極的な働きかけが必要	地活協の意義や準行政的機能や総意形成機能について理解が深まるよう地活協のメンバー及び地域担当職員の研修	オンラインを活用した勉強会を2回実施 会計説明会を4回実施 地域担当職員の研修実施（2回）	準行政的機能を認識していると回答した割合： 60.8% 総意形成機能を認識していると回答した割合： 65.6% <small>※地活協の構成団体へのアンケート</small>	地活協メンバー交代の地域を重点に地活協の意義、求められる機能について理解を深める取組の実施 ・研修会を実施（4回） ・会計説明会を実施（全体2回 地域単位5回（5地域））
地域の実情に応じた取組が進んでいない地域がある	それぞれの地域特性に即した地域課題を把握し、それに即した最適な支援が必要	地域課題の発見と解決策の検討にかかる区役所職員による支援を強化し、地域の実情に即したきめ細やかな支援の実施	地域活性化支援事業受託事業者による地域担当職員対象の研修及び他地域での活動事例共有	地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合： 90.1% <small>※地活協の構成団体へのアンケート</small> ⇒ 高水準を推移	まちづくりセンターが地域カルテを作成 地域特性に即した地域課題を抽出、まちづくりセンターと連携し、地域資源の活用促進 地活協と地活協外部の人がつながる場を試行
夢洲（万博・IR）やUSJの賑わいによる来訪者が此花区内部を素通りする恐れ	2025年の大阪・関西万博のレガシーの創出と此花区内部の魅力形成が必要	—	—	—	R4新規事業 【正蓮寺川公園のアート公園化】 有識者会議の立上げ（8月予定） パブリックアート作品の選定（11月予定）

◎地活協による活動事例



島屋エンジョイカーニバル



西島カーニバル



早朝清掃（高見）

◎区役所、まちづくりセンターによる研修、勉強会



地域担当職員研修の様子



地域活動協議会会計説明会の様子

